

日頃みなさまは、患者さんや障がいをもたれた方、そして高齢の方々の口腔ケアでお困りではありませんか。

私は20数年前、病院、施設、在宅で初めて診療し、患者さんたちの口腔内のひどい現状を見て、衝撃を受けました。そして、口腔環境をよくしてさしあげたいと思いました。

忙しい介護や看護、医療、リハビリテーション現場に、口腔ケアを導入してもらうにはどのようにしたらよいか、試行錯誤しました。そしてついに、誰でも時間がかからず、簡単にできる「くるリーナブラシ」（オーラルケア）を、10年程前に開発しました。

くるリーナブラシシリーズは口腔ケアのみならず、口腔機能の協調運動を引き出し、嚥下機能にもよい影響を及ぼします。くるリーナブラシシリーズを使って口腔ケアを行うことで、誤嚥性肺炎の予防ができ、唾液分泌を促すことができますので、食べこぼしや窒息を防ぐことができます。

口腔ケア、口腔リハビリで口腔環境が整うと、その人に合った食事形態の調整が必要になります。従来は、口腔の動きと嚥下機能を見て増粘剤を使用するのが主流でしたが、このたび、ゲル化剤であるミキサーゲルが発売されました。くるリーナブラシシリーズと同様、誰でも簡単に、楽しみながら介護食の形態調整ができるところまで、こぎつけました。

口腔ケアから嚥下機能までの流れを、DVDでご紹介します。

なお、映像のなかで行われている口腔ケア&口腔リハビリは、私が他職種の方々に伝達し、習得された結果を実践してくださっている様子です。そういう意味でも、くるリーナブラシシリーズを使っての手技は、容易に習慣化しやすいと言えます。是非、試みてください。

最後に、撮影にご協力いただきました多くの方々に感謝申し上げます。